

謹んで新年の お慶びを申し上げます

年頭の「いあいやり」

町民の皆様、新年あけましておめでとございます。

希望に満ちた輝かしい平成二十四年の初春を、ご家族お揃いで健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

私は町民皆様の温かいご支援のもと、悠久の歴史と伝統に輝く上ノ国町の町長として、今年で十年目を迎えることとなりましたが、就任以来今日に至るまで一貫して、私の町政執行の基本姿勢である「わたしたち町民一人ひとりが現状を自覚し、そして一人ひとりがこの町を変えろ」という意思を表してくる」ということを確信し、行財政政の

見直しと改革に議会、町民の皆様と手を携えて渾身の努力をして参りました。

この間、皆様からいただきました深いご理解と、絶大なご協力に対しまして心から感謝申し上げます。

さて、過ぎし平成二十三年を振り返りますと、日本経済は東日本大震災の影響により大きく落ち込んだものの、その後の復興需要の増加や国の支援政策などにより回復の兆しが見受けられました。世界経済の混乱による円高の長期化やタイの洪水被害などにより国内景気の緩やかな回復に水を差すかたちとなりました。

記憶に残る出来事といたしま

しては、やはり日本観測史上最大規模の東北地方太平洋沖地震を思い浮かべてしまいます。この地震により太平洋沿岸には大津波が押し寄せ、死者・行方不明者数は約二十万人となり、また福島第一原子力発電所では事故が発生し、今でも避難を余儀なくされている方が多数おられます。一日でも早い復興をご祈念申し上げます。

一方、ユネスコ世界遺産の文化遺産として岩手県の「平泉」が、自然遺産として「小笠原諸島」がそれぞれ正式に登録され、また女子サッカーのワールドカップ・ドイツ大会では「なでしこジャパン」が世界一に輝くなど、震災で落ち込んでいた

日本国民に明るい話題を提供してくれました。

さて町内産業に目を転じて見ますと、まず農業においては、

昨年の登熟期は天候に恵まれ、収量・品質は平年を上回り、収穫作業期に天候不良の影響を受け、例年以上に日数はかかったものの、水稲では檜山管内の作況指数は「百四」、作柄は「やや良」となりました。水稲以外の作物では、本町の特産品でありますキヌサヤエンドウは生産量・生産額とも減少となりましたが、その他の作物については概ね前年並みで推移したところ

です。

一方、漁業は、漁獲量及び水揚げとも前年とほぼ同一で、こ



町長 工藤 昇